

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 032	提案機関名 農業技術センター 三浦半島地区事務所
要望問題名 太陽熱消毒時によるキャベツ根朽病、及び萎黄病の防除について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 三浦半島におけるキャベツ育苗は、夏作のウリ科野菜栽培後、太陽熱消毒を行い、このほ場を苗床として使用することが多い。しかし、太陽熱のみでは消毒が不十分で、根朽病や萎黄病が発生し、一部では大きな被害が出る場合があり問題化している。土壌消毒剤や抵抗性品種(萎黄病)などでの回避方法もあるが、太陽熱消毒は、三浦半島で体系化されており、この体系の中での効率的な根朽病、萎黄病の同時防除技術の確立が望まれている。 キャベツ作付面積 三浦市759ha 横須賀市355ha(平成22年度野菜生産出荷統計)	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター 三浦半島地区事務所	担当部所	研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 病虫害防除・予察技術の開発及び改善 病虫害の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立		
対応の内容等	キャベツ苗床における臭化メチルの代替技術として、当地域では太陽熱消毒に切り替わりましたが、これら消毒では十分でなく、萎黄病等の発生が問題となっていることは認識しています。また、根朽病についてはまず診断により原因の特定する必要がありますと考えますので、診断と原因の特定にご協力ください。一方、太陽熱消毒の補完とされる土壌還元消毒法はエタノール(EtOH)を用いた少かん水量土壌還元処理によるキャベツ苗床消毒について検討して来ましたが、この技術を現地に導入する場合は現地での共同試験を行います。また、薬剤による土壌消毒についても現地試験については情報の提供や試験への協力を行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			